

さみどり

にのみや学園

二宮町立一色小学校 学校だより
令和5年度 第4号 (10/24発行)



一色小学校は創立59年目を迎えました。

2学期が始まってから、2か月近くが過ぎました。気候も過ごしやすくなり、子どもたちは、毎日、元気に落ち着いて学校生活を送っています。

オールフレンズ集会

10月5日(木)に「オールフレンズ集会」を行いました。「オールフレンズ集会」は、異学年との交流を通して、よりよい人間関係を育むことと、お互いを認め合いながら自分の役割を果たそうとする気持ちを育てるということをねらいとしています。また、発達の段階に応じて、それぞれの学年でのめざす子どもの姿を次のように考えています。

- 1年生：異学年との交流に慣れ、班の友達に協力できる。
- 2年生：1年生の1つ先輩として、活動に進んで協力できる。
- 3年生：下学年のリーダーとして、活動に進んで協力できる。
- 4年生：来年は高学年として、班を取り仕切ることあることを考えて行動できる。
- 5年生：来年は6年生になることを意識して、自分のできることを考えて行動できる。
- 6年生：リーダーとして班を取り仕切り、班のメンバーが楽しめるように考えて行動できる。

当日は、各学年2人程度ずつの縦割り班で、まず給食を楽しく食べ、体育館で開会式をしてから、10のポイント(カン積み、ボウリング、カードゲーム、昔遊び、ドミノ、ビンゴ、ふうせんバレー、的あて、キックターゲット、くつとばし)を移動しながら、仲良く遊んだりゲームをしたりして、楽しみました。

今年度は、いくつかのポイン



トで学校運営協議会の方々をはじめ、スマイルネットサポーターの方にも協力していただき、いろいろな場所で、温かい交流が見られ、笑顔と歓声が広がっていました。開会式でも、セーフアウトクイズで盛り上がり、みんなで「風の匂い」を歌って、退場しました。

6年生が中心となり、丁寧に下級生に声をかけたり、一緒になって遊んだり、みんなで思いっきり楽しみながら、優しく思いやり

のある行動がたくさん見られました。上の学年の子たちが、自分よりも下の学年の子と接することで、こんなに優しい素敵な姿を見せてくれるのだ

と、とてもうれしく、温かい気持ちになりました。また、そういう上の学年の姿を見ることで、憧れを感じ、



下の学年の子たちも、自分もそうなれるように頑張ろうという気持ちが芽生えます。一色小は、小さな学校だからこ

そ、同年齢の人数が少ない分、他の学年との触れ合いを多くもつことができるという良さがあります。



このような異学年での活動は、どの学年にとっても、深い学びがあります。来月の運動会でも、子どもたちの活躍する姿がたくさん見られると思います。

にのみや学園プロジェクト

～小中学校児童生徒交流会～

今年度開校した施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」の取組として、9月27日(水)に「小中学校児童生徒交流会」が行われました。本校からは5年生と6年生が、自分が進学する予定の二宮中学校と二宮西中学校に分かれて行きました。それぞれの中学校で、5時間目の授業を参観し、それから体育館に他の小学校の児童と一緒に集まり、生徒会から中学校生活についての説明を聞き、最後に部活動を見学しました。



一色小は人数が少ないため、5年生も参加することができました。5・6年生を合わせても、中学校に行ってみると、他の小学校の方が人数は多く、ちょっと圧倒されてしまったかもしれませんが、今のうちから、他の小学校の児童と触れ合ったり、中学校生活の様子を知ったりすることで、これまで以上に安心感をもって中学校に進学することができることを願っています。一色小は、2つの中学校に分かれてしまうことで心細く感じる人もいるかもしれませんが、その分、さらに友達の輪が広がり、今までよりもっと多くの人と知り合うことができます。「友達の友達はみんな友達！」と思えば、両方の中学校に友達が増えると考えられるかもしれませんね。



にのみや学園「小・小なかよしプロジェクト」も始まっています。小学校6年間の中で、他の小学校の同学年の児童同士の交流も少しずつ進めていきます。